

**平成26年度
第1回 長岡市図書館協議会**

日 時：平成26年7月28日（月）午後1時30分から午後3時30分まで
会 場：中央図書館2階 講座室1

会議出席者 委 員：小林委員 谷委員 内藤委員 林委員 藤澤委員
淵本委員 湯本委員 渡邊委員
※欠席：恩田委員 松本委員
事務局：佐藤教育部長 金垣館長 島田館長補佐
岩渕庶務係長 松矢奉仕係長 石井文書資料室長
指定管理者 高橋総括チーフ 同渡辺チーフ
同菊地業務責任者

1 開会

2 委員委嘱状の交付

3 議事

(1) 正副委員長の選出

委員長：渡邊委員 副委員長：淵本委員

(2) 報告事項

- ① 平成25年度の実績報告について
- ② 平成26年度の重点事項について
- ③ 平成26年度の重点事業について

(3) 協議事項

平成26年度長岡市図書館活動評価（案）について

4 閉会

5 会議録要旨

○図書館の事業かどうかは、分からないが、各小中学校への図書館司書の派遣の実績、効果について参考にとりたい。

⇒学校図書館への司書の派遣は、学校教育課の所管のため、詳細がわからないので、後日改めてお知らせしたい。現在、司書の資格のある臨時の職員を9人採用して、学校を巡回して回るという形をとっている。図書館では、地域図書館が自主事業として、近隣の小学校等へ出向いて、学校と一緒に図書を整備を行っているところがある。

○高校生や大学生の活字離れは、よく言われているところであり、登録者数にも影響してくる。図書館の活性化にはこの辺を何とかする必要があるかと思う。大学生のほとんどが住民票を移していないため、図書を借りないという確率が非常に高い。理由を聞くと市民でないから借りることができないという答えが返ってくる。ここで、言うべき事ではないかもしれないが、政策により、住所を長岡市に移すことによるメリットが多ければ、その中に図書館の利用ということがでてきて、登録者数

- に影響するのではと考える。
- 佐渡市では、市民でなくても使えたように記憶している。
 - ⇒住民票が長岡市になくても長岡市内に住んでいれば登録でき、市外の方も通勤先や通学先が長岡市であれば、登録できる。学生証は住所の記載がないため、督促状を出す関係で、郵便物や電気・ガス・水道の検針のお知らせ等の住所が確認できるものがあれば登録できる。
 - 学生証だけでは登録できないのか。登録に住所が必要な理由は何か。
 - ⇒学生証には住所の記載がなく、延滞した場合の督促状を確実に送付する必要があるため住所の確認ができるものの提示をお願いしている。
 - 佐渡市では、借りることができた。
 - ⇒制限を設けていない図書館も全国にはいくつかある。
 - 高校生の図書館の登録率が約 19 パーセントと非常に低い率である。今までに、市内の高校生向けに図書館への利用希望などについてのアンケートを取ったことはあるのか。
 - ⇒ない。
 - 新潟市立図書館「ほんぽーと」は、非常に自習室が充実している。長岡市はスペース的に制約があるのだろうが、改善されないと中々高校生の足が図書館に向かないと思う。要望を聞いて、改善していった方がよい。
 - ⇒互尊文庫には、中央図書館より広い学習スペースがある。また、アオーレでも教科書を広げている光景をよく見かける。高校生へのアンケートについては、今年、高校図書室の担当教諭の研修会を中央図書館を会場に開催されるので、担当教諭から情報を得ながら、対応を検討したい。
 - 例えば、高校の入学時に利用者カードを作って渡すということはできないのか。
 - ⇒学校側の協力があれば可能である。小学校では、3年生が図書館見学に来た時に借りられるように事前に未登録の生徒には、先生から連絡いただき、利用者カードを作成し、渡している。
 - 図書館の利用の仕方を知らない子が、多いのではないか。広報することが大事だと思う。
 - 図書館が、表町地区の市街地再開発の場所に出ていくということはないのか。検討はしても良いのではないか。
 - ⇒今後、検討するところである。
 - 東日本大震災被災地に文書資料室の活動を紹介した刊行物を贈呈することは、非常に素晴らしいことだと思う。どこの市町村に贈るのか。
 - ⇒被災した県の市町村の図書館や役所へ約300か所に贈る予定である。受け入れ先での資料の配置場所は、市の危機管理防災本部へも確認したところ各市町村に任せられた方がよいという助言もあり、市町村の総務担当課に送付し、配置先は市町村に任せることとしたい。
 - 有効に活用してもらいたい。
 - システムの更新について、ウインドウズXPのサポートが終わっているはずだが、来年2月まで使うことになる。個人情報の保護の観点から、セキュリティ面は大丈夫なのか。

- ⇒セキュリティについては、厳しく対応している。来年2月末日までは、現システムの契約業者が、責任をもってサポートすることになっている。
- 災害史に学ぶのリー講演会は、非常に良い企画だと思う。与板地域であった講演会は、200年前の良寛さんが生きていたころの文政大地震で、藩主がどう対応したか、行政がどう動いたかが非常によくわかり大変好評だったと聞いている。
- 新しい図書館システムのセルフ貸出機の導入について伺いたい。これは、利用者が操作するわけであるが、なぞり忘れがあった場合の対策はどうか。
- ⇒将来的に持ち出し防止装置の警報でわかるようにする予定であるが、現時点では、対応が進んでいない。当面は、利用者になぞり漏れがないようお願いすることで対応したいと考えている。利用者きちんと説明し、スムーズに利用ができるように努めたい。貴重資料については、順次持ち出し禁止対応のタグを貼ってゲートで警報音が出るようにしていく予定である。一度に全ての資料に持ち出し禁止対応のタグを貼ることができないため、順次進めていく。
- 今できないというのは、予算的な面からか。
- ⇒予算的の面もあるが、まだ、8千点の資料しかタグを貼っていない。システム上も、貸出処理後の警報音停止の処理を追加する必要があるが、そこまで進んでいない。図書館の資料は、約90万点もあるので、貸出をしながらタグを貼る作業を行うことは非常に難しい。休館して、作業をやれば早くできるようになるが、利用者への影響を考えると、開館しながらの作業となる。段階的に対応していきたいと考えている。
- リー講演会の定員に対する参加者の人数の状況はどうか。
- ⇒現在5回目までで延べ463人の参加があった。第1回目の中央図書館では、定員130人に対して、100人、2回目のやまこしが80人に対して58人、3回目の中之島は、コミュニティセンターのオープニングイベントと重なったこともあり、100人に対して125人の参加があった。4回目の与板は100人に対して89人、5回目の三島は、80人に対して91人となった。今回の講演会は、各支所やコミセンに協力をお願いしたため、日時や会場の制約もあったが、概ね好評をいただいている。
- 講演会の参加は、事前に申し込みをしなくても、当日行っても大丈夫か。
- ⇒原則事前申し込みで、開催日前の水曜日までとしているが、キャンセルがあったりするので、定員以内であれば参加可能である。
- 講演会の結果をまとめて、例えば市政だよりも概要版を載せるなどしないのか。
- ⇒年度末に講演会の記録をまとめた刊行物を出す予定である。今回の講演会の特色として、各地域にちなんだ内容としているため、当初の災害史を学ぶという目的のほかには地域の歴史等を認識するという面がある。
- 前の活動評価は項目が非常に多かった。昨年度、活動評価の見直しをした時、非常に多い評価項目を整理し、今の形になった。把握するのに大変でないかと個人的には思うが評価項目としては、このような感じでいくのか。
- ⇒重点事項に対して、事業を2つないし3つ挙げている。研修や設備、資料の収集の事項では、昨年度の項目を継続しており、重要事業として変更できない項目と考えている。逆に課題の解決とか広報の部分は、今年はこうだけれども、次回はこうし

た方が良いのでは、というご意見を頂き、反映できればと考えている。

- 「2-3-①利用者アンケートの実施」について、平成25年度の活動評価では、B評価で、アンケートの数が上がらなかったということだが、例えば、高校生から意見を伺うとか、図書館の潜在的利用者に対してのアンケートを工夫していただければと思う。先ほどの利用者登録率の増加にもつながる。

⇒検討したいと思う。

- 項目はこれで良いと考える。合併10周年ということで、各地域は、大変貴重なお宝、財産を持っているが、あまり全市的に公開がされていない。全市的に各地域の貴重な財産や技術といったものを公開するようなことができないか。科学博物館の所管かもしれないが、文書資料室と関係機関が連携し、歴史的公文書などの公開を提案してほしい。

⇒文書資料室は、歴史的公文書の収集を行っているが、掛け軸や絵画などは扱っていない。来年、合併10周年を迎えるので、地域ごとの歴史を振り返るといような事業を行うことになれば、各支所や関係機関と連携・協力し、やることもある。6つの重点事項には入っていないが、市議会や市民から図書館は情報の拠点であってほしいとのご意見がある。目指していきたいと考えているが、情報をどう集めていくかを考えた場合、図書館だけでは難しい面がある。科学博物館も含めて、長岡市として、地域の宝をどう生かすかを検討していきたい。

- 昇降機改修工事に、非常に大きな予算がついたということは、大きな評価と言えるが、各図書館の老朽化度合いとか補修度合い等の情報が、評価項目でないにしろ、チェック項目とか何かであった方が良い。

⇒地域館も含め、改修工事は計画的に進めている。昇降機改修工事も改修計画に載っているものである。昨年度は、西地域図書館で4基の空調設備のうち、1機が故障したため、緊急な改修工事が必要となり改修工事を行った。各館の改修工事は、優先順位をつけながら、計画的に行いたいと考えている。

- 「2-4-④ 地域館における特色資料や地域の特色を生かした事業の実施」の「図書館を使った調べる学習コンクール」についてであるが、年々事前の案内が早めとなり、今年は、6月3日の小学校長会の段階で、既に案内を出していただき、学校の行事予定に反映しやすくなった。地域館に子どもたちが行くと非常に丁寧に調べ方とか、まとめ方を指導してもらっている。子どもたちは、自由研究で色々な事をやっているが、そのまとめ方まで、指導をいただき、ありがたいと思っている。結果として、コンクールに参加する子どもの数が増えている。ただ、全部の子どもが地域館を訪れることができるわけではなくて、小学校は全て、学区外へ子どもたちだけでは行ってはいけないことになっている。例えば、西地域図書館は、遠くはないが学区外の子どものみだけでは行けない。親が同伴したり、本を借りるとか工夫すれば可能かと思うが、こういう事情があるということを知っておいてもらいたい。

○昇降機の改修工事に経費がかかるみたいだが、エレベーターの利用状況はどうか。

⇒中央図書館には、3基のエレベーターがあり、エントランスから2階に上がるエレベーターは、利用頻度というより、車いす等の階段の上り下りが困難な利用者に配慮したものである。もう1基は、一般の利用者用ではなく、3階の閉架書庫への本の運搬用として必要なものである。もう1基は、1階搬入口から2階の美術センタ

一への作品等の搬入用として必要なものである。使用頻度というより使用目的により、設置している。

○改修に非常に多くの経費がかかるという中で、昨年度の活動評価では、インターネットの利用が、順調に伸びている。時代の流れであると思う。自動車保険もネット保険が流行っていて、保険料も安いといわれている。今のネットの普及状況から、いっそのこと図書館の施設は少なくしていく方向で、ネットを多くの若い方に利用していただき、地域のコミュニティセンターや支所等と連携して、そこに図書館をもって行くという方法もあると思う。

⇒長岡市は、市町村合併により、公共の建物が増えてきており、必要なものは残すが、統合すべきものはする、という方針で計画的に取り組みを進めている。地域館も含め図書館もこの計画に基づき、改修工事を行っている。10年後、20年後を見据えた、長い期間の中で施設を整備しているものである。コミュニティセンターや各支所との連携は、全国的にも言われていることであり、大変重要な課題と考えている。現在の長岡市内の図書館の利用状況をみると、気軽に借りに行く図書館として、ある程度の図書館の数は必要と考えている。インターネットと図書館の関連については、研究していきたい。

○これまで委員から出た意見については、反映できるものはしてもらい、中長期的な事項については、検討していただき、できるだけ反映していただけたらと思う。